

第1回宗像市空家等対策協議会議事録

日 時:平成31年4月24日(水)10時00分～11時00分

場 所:宗像市役所第2委員会室

出席者:日高会長、榎副会長、田島委員、松本委員、中山委員、疋田委員、安部委員

事務局:(都市再生担当)中村部長、(都市再生課)内田課長、藤原係長、児島、樋口

【 会議内容 】

1. 開会

2. 市長あいさつ

平成27年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行し、空家等に関する対策を実施することが市町村の責務となり、宗像市においても、この特別措置法に基づき、空家対策の強化に取り組んできた。更に、空家等は貴重な住宅資源と前向きに捉え、その利活用にも積極的に注力している。委員の皆様には、それぞれの立場から、忌憚のないご意見をお聞かせいただきたい。

別公務により市長退席

3. 委嘱状交付

4. 自己紹介

出席者及び事務局の自己紹介資料1

5. 会長、副会長の選任

立候補者なし。事務局が日高委員を会長、榎委員を副会長に推薦し、全員承認。

6. 会長挨拶

空き家は問題であるが、この際まちづくりの資源と捉えて、積極的な活用を図りたい。本協議会は今後の宗像市にとって重要な機会となる。活発な議論をお願いしたい。

7. 署名委員の指名

今回の議事録署名委員は、田島委員、松本委員。

8. 報告事項

以下の項目について説明(説明内容は省略)

(1) 宗像市空家等対策協議会について資料2

空家等対策の推進に関する特別措置法について説明。質疑なし。

(2) 相続財産管理人制度の活用について資料3

(質疑・応答)

日 高 会 長： 空き家のリノベーションやコンバージョンとは具体的にどのようなことをしたのか。

内 田 課 長： 空き家は建築年数が古く、多額のリフォームに費用が掛かるため、貸付が進ま

内田課長： ない。住宅を今の生活スタイルに合わせるという課題を解決する必要がある。空き家の利活用を活性化することを目的として、家主が貸借する前にリフォームしやすくするために市が一部を助成することで、どれだけ普及するか社会実験を実施していた事例がある。コンバージョンについては検討中であり、実績はまだ無い。

(3) これまでの空き家等対策事業について資料4

(質疑・応答)

足田委員： 空き家管理サービスの申し込みはどれくらいあるのか。

藤原係長： 平成29年度は初年度で反響が大きく、相談件数と登録件数が多かった。平成30年度は件数が伸び悩んでいるが、今年度も積極的に広報していきたい。

足田委員： 最初の一年目は需要があって、二年目は落ち着いたということか。

藤原係長： 平成29年度は新聞広告を打ったり、同年調査した空き家所有者全員に案内を送付したので、問い合わせも多かったのではないかと考えている。

榎副会長： 売却した物件は宗像市の空き家・空き地バンクの取り組みによるものとしてよろしいか。

藤原係長： 空き家・空き地バンク登録物件もあるが、接道していない等で登録できなかった物件もある。空き家・空き地バンクに掲載する前に、売却した例もある。

田島委員： 自治会長の時、担当業者に相談しても売れないと言われたと聞いた。また、不動産関係者から市街化調整区域等により更地でも家を建てられないと伺った。市内に家を建てたい住民が、ここに家は建てられないという解釈をして諦めていることもあると思われる。

(4) 平成31年度空き家等対策事業について資料5

(質疑・応答)

中山委員： 空き家・空き地バンク登録奨励金は立地適正化計画に定める都市機能誘導区域又は、居住誘導区域内に限るが、区域外は何か補助等はあるのか。

児島： 現在は、区域外に対する補助は無いが、空き家・空き地バンク登録奨励金は3年間という時限があるので効果等を見ながら進めていきたい。

内田課長： 奨励金3万円は3年間の社会実験として、効果を検証したいと考えている。今回は、平成30年4月に策定した、立地適正化計画を実現するために空き家・空き地バンクの区域を選定して実施している。市街化区域よりも狭い区域で進めているが、効果があれば区域を広げることも検討したいと考えている。

田島委員： 市民から個人所有の土地を市に譲渡したいという相談があった。将来的に、市

田島委員： 土地を譲渡することはできるのか。また、このような事案を検討しているのか。

中村部長： 人口減少に伴い、個人所有の空き地が増えており、全国的な問題となっている。仮に空き地を市が所有することになった場合、空き地の管理に費用が掛かる。税金で空き地の管理するのは余程の土地でないといけない。現状として、市へ土地等を寄付していただくことは厳しいと考えている。

9. その他

藤原係長： 今後、特定空家等に認定されそうな物件が出た時は、随時日程調整をして開催する。年度末に今年度の事業報告と来年度の事業計画を協議したいと考えている。

10. 閉会

以上のとおり、相違ありません。

令和元年 5月29日

署名委員

田島信之

署名委員

松本真誠